

足寄発電所（水力）の最大出力の増加について ～ノンファーム型接続による系統接続量増加～

電源開発株式会社（以下「Jパワー」、本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：菅野 等）は、本日、足寄発電所（北海道足寄郡足寄町）の最大出力が40,000kWから42,300kWに増加したことをお知らせします。

足寄発電所は、水車発電機など主要設備を一括で更新するリパワリング工事を2023年3月に完了しました※1。リパワリング工事による出力増加分2,300kWについては、ノンファーム型接続※2により送電する計画でしたが、今般、「調整電源以外の電源も含め一定の順序で出力制御する再給電方式（一定の順序）」の接続ルールが適用開始※3となったことから、足寄発電所のリパワリング工事による出力増加分2,300kWをノンファーム型接続することが可能となり、同発電所の最大出力が増加しました。

Jパワーグループは、これまでの全国各地における水力発電所開発・運営の経験と実績を踏まえ、[J-POWER “BLUE MISSION 2050”](#) で掲げたカーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギー事業の拡大に向けて取り組んでいきます。

※1 2023年3月22日 [「足寄発電所1号機が営業運転を開始しました」](#)

※2 電力系統の送変電設備は常に最大容量を使っているわけではなく、送変電設備の容量が空いている時の空容量を活用し、増出力分を出力するのがノンファーム型接続です。送変電設備の最大容量を超える場合は出力が抑制されます。足寄発電所は40,000kWの送変電設備容量は確保しているため、増出力分（2,300kW）のみノンファーム型接続となります。

※3 2022年7月29日 電力広域的運営推進機関 [「2023年12月再給電方式（一定の順序）の導入について」](#)



足寄発電所（外観）

(1) 足寄発電所概要

所在地	北海道足寄郡足寄町
出力	40,000kW → 42,300 kW
最大使用水量	毎秒56トン
ダム	活込ダム (堤長185m、高さ34m)
運転開始	1955年10月

(2) 位置図



以上